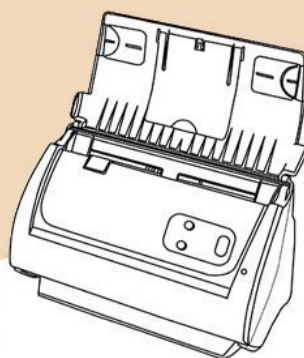


スキャナ ユーザーガイド

plustek



SmartOffice

- ✓ 設置方法
- ✓ 使用・メンテナンス方法

登録商標

© 2020 すべての権利を留保されます。本印刷物のいかなる部分も許可なしに複製することはできません。

Plustek は、Plustek 社の登録商標です。OCR 処理技術は、ABBYY® FineReader®, © 2020 ABBYY 提供です。ABBYY および FineReader は、ABBYY Software, Ltd の登録商標であり、幾つかの法的機関にも登録されています。

本印刷物に記載されている商標およびブランド名はすべて各社の所有物です。

免責事項

本マニュアルの内容の正確さを保つため最大限の努力を払っておりますが、誤記、欠落、本マニュアルの記載内容により生じたいかなる過失、事故、その他の因果関係について弊社では一切責任を負いません。本マニュアルの内容は予告無く変更されることがあります。ユーザーが当マニュアルの指示に従わなかった場合、当社は法的な責任を一切負いかねます。

著作権

小切手、紙幣、ID カード、債権、公的書類等をスキャンすることは法律で禁じられています。また刑事訴追される場合があります。本書で使われている全ての商標、ブランド名は知的所有物です。本書を許可無く複製することは禁じられています。また本、雑誌、その他をスキャンするには著作権法を遵守してください。

環境に関するお知らせ

製品寿命に達した際のリサイクルや廃棄に関する詳細は、最寄りの代理店か販売店にお尋ねください。本製品は地球環境を壊さないよう設計、製造されています。弊社ではグローバルな環境基準沿った製品造りを心がけております。廃棄の方法についてはご使用している地域の関係機関にお問い合わせをしてください。

商品のパッケージングはリサイクル可能です。

当マニュアルでの画像例

本書で使われているスクリーンショットは Mac OS X 10.12 で作成されました。Mac OS X 10.13 / 10.14 / 10.15 を使用されると本書のものとは違って見えることがありますが、その機能は同じです。

目次

はじめに.....	1
本書の使い方	1
本書の表示	1
アイコンについて.....	2
安全上のご注意	2
必要システム構成.....	3
梱包箱の内容物.....	4
スキャナの概要	5
第 1 章 スキャナーの設置.....	7
ソフトウェアをインストールするにあたっての要件	7
ハードウェアの要件	7
スキャナーの設置と設定	8
ステップ 1. スキャナーのコンピュータに接続します	9
ステップ 2. ソフトウェアのインストール.....	10
ステップ 3. 拡張幅ヘッパースライダーの設置.....	11
ステップ 4. スタッカーのインストール.....	11
ステップ 5. スキャナのテスト.....	12
第 2 章 スキャン操作.....	13
ドキュメントの準備	13
文書の状態の確認.....	13
スプレッドファイル.....	15
ドキュメントの置き方	15
名刺の置き方	17
プラスチックカードの置き方	17
保護シートを使ったドキュメントの置き方.....	19
ドキュメントのスキャンング	21
スキャナのボタンからのスキャンング	21
MacAction のExecuteメニューからのスキャンング.....	23
MacAction ウィンドウ左側のアイコンからスキャンします	24
第 3 章 お手入れとメンテナンス	25
スキャナーのクリーニング	25
清掃用具	25
ADFの清掃.....	26
消耗品の交換	27
パッドモジュールの交換.....	28
スキャナのキャリブレーションを行う	29
省電力	30
第 4 章 トラブルシューティング	31
スキャナーの接続	31
紙詰まりの除去	31
別表A: 製品仕様.....	33
別表B: カスタマーサービスと製品保証	35
サービスおよびサポート情報.....	35

製品保証	36
FCC規格	37

はじめに

お客様のスキャナサプライヤーとして弊社をお選びいただきありがとうございます。お求めいただいた、このスキャナは、画像および文書を電子テキスト化することで、コンピュータシステムへの入力を可能にして、お客様の日々のコンピュータ業務の専門性を改善します。スキャナにより、両面片面文書を簡単にスキャンできます。

他の弊社製品と同様に、お求めいただいた、このスキャナは十分なテストを行い、お客様に、ご満足いただけるよう、弊社は日々努めております。今後ともお客様のコンピュータ関連のニーズのため、弊社製品をご愛顧いただけることを願っております。

本書の使い方

本書ではスキャナーの設置及び取扱い方法を説明しております。ご使用になる方が Apple Mac OS X の操作に慣れていることを前提に本書は書かれています。必要に応じて Apple Mac OS X のマニュアルを参照してください。

はじめにの項では梱包箱の内容説明、スキャナーを使用する際に必要なコンピュータのシステム構成等が書かれています。設置前には全ての部品が揃っているか必ず確認してください。欠品または損傷があった場合には速やかにお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

第一章ではコンピュータスキャナのソフトウェアのインストール方法、スキャナーとコンピュータの接続を説明しております。スキャナーは USB をコンピュータ外部に接続されます。コンピュータ起動していないコンピュータを使用する場合には USB インターフェイスカードをお買い求めになり USB 機能を追加してください。マザーボードが USB 機能を持っている場合には USB コネクタを購入、取付けを行ってください。本書はお使いのコンピュータが USB を使えることを前提に書かれています。

第二章では使用方法について説明しております。

第三章ではメンテナンス、清掃の仕方について説明しております。

第四章では簡単な問題に対処するためのテクニカルサポートです。

別表 A はご購入いただいたスキャナーの仕様が記載されています。

別表 B は製品保証並びに FCC に関する記述が記載されています。

本書の表示

Bold (太字) – スキャナーのボタン

Italic (イタリック) – 重要事項

アイコンについて

本ガイドでは、特別な注意が求められる情報を示すために以下のアイコンを使用します。



警告

負傷または事故を防ぐために注意して従わなければならない手順。



注意

覚えておく価値があり、間違いを防ぐための重要な指示。



情報

参照のための、オプションの知識とヒント。

安全上のご注意



警告

故障、人体を損傷することがないように、本機をご使用になる前に以下の重要なインフォメーションをお読みください。

1. 当製品の使用箇所は屋内の乾燥したところです。下記の状態では本機の内部に結露が発生し故障の原因となることがあります:
 - 本機を冷たい場所から暖かい場所に直接移動させて時
 - 冷たい部屋を暖めた時
 - 本機を湿度の高い場所に置いた時結露を防止するために下記の
 - ① 本機をプラスチックバッグに入れ密封して室温になじませてください。
 - ② 1-2 時間おいてから本機をバッグから出してください。
2. キャナに付属されている電源アダプタ及び USB ケーブルを必ず使用してください。他の電源アダプタやケーブルを使用すると故障の原因となることがあります。
3. 緊急時に AC アダプタを素早く抜けるよう AC アダプタの周囲は空けてください。
4. 配線の破損は出火、電気ショックの原因となります。電源コードはまっすぐ伸ばし、よじったり、曲げたり、擦ったりしないでください。
5. 夜間、週末等ある期間本機をしない場合には出火の原因を排除するため電源を抜いてください。
6. スキャナーを解体しないでください。電気ショックの危険があるため、スキャンを開くと保証の対象から外れます。
7. スキャナーのガラス面はこわれやすいので物をぶつかけたり、叩いたりしないでください。
8. スキャナーに大きな振動を与えないでください。内部コンポーネントが損傷する恐れがあります。

必要システム構成¹

- Intel Pentium® IV 2.0 GHz プロセッサまたは同等のプロセッサを有するコンピュータ
- 1 GB RAM
- USB 2.0 ポートが使用可能なこと
- CDドライブ
- 800 MB の空き容量がハードディスクにあること
- ビデオカードが 16 色以上をサポートしていること
- オペレーティングシステム: Apple Mac OS X 10.12 / 10.13 / 10.14 / 10.15

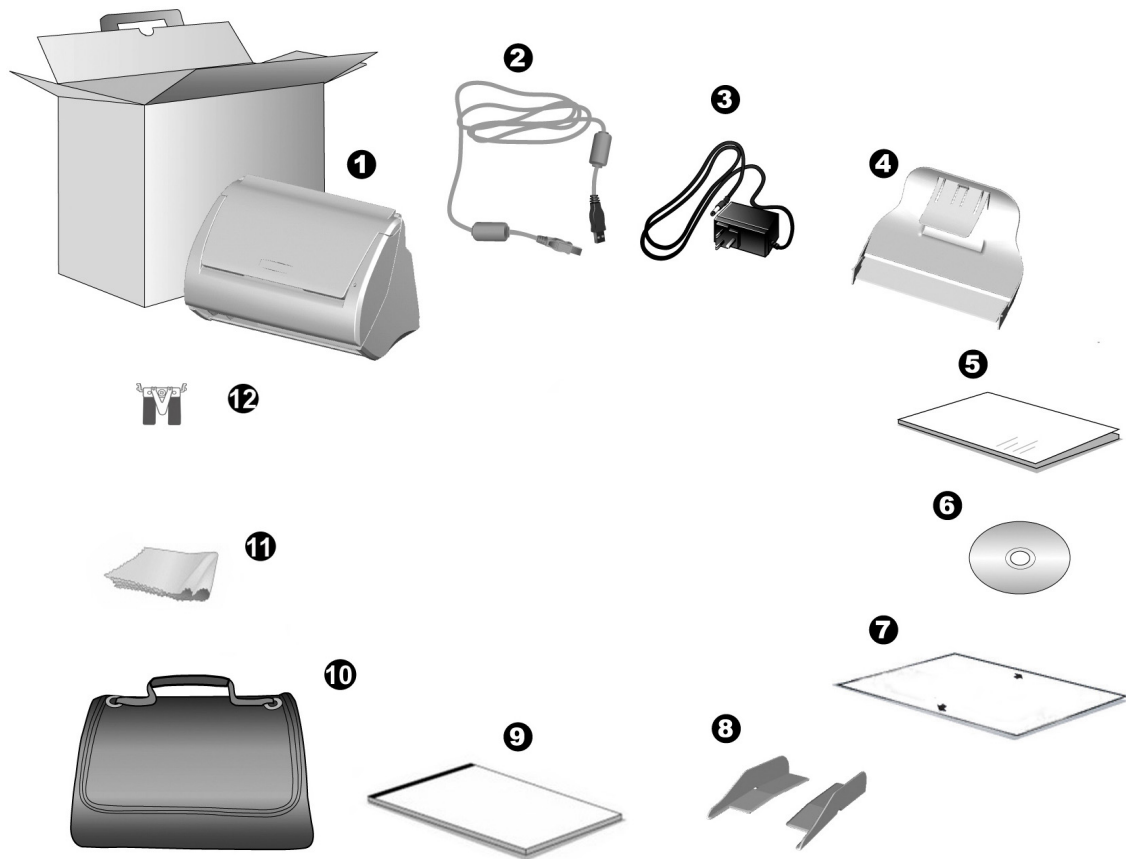


情報

最適な性能を引き出すためには Pentium® IV 3.0GHz 以上のプロセッサ、1GB 以上のハードディスクの空き容量があるシステムを推奨しています。

¹ 大きなイメージデータをスキャン、編集する場合にはより高い仕様が必要となります。本書で示す必要なシステム構成は目安であり、コンピュータの性能が上がる程よい結果が得られます。

梱包箱の内容物²



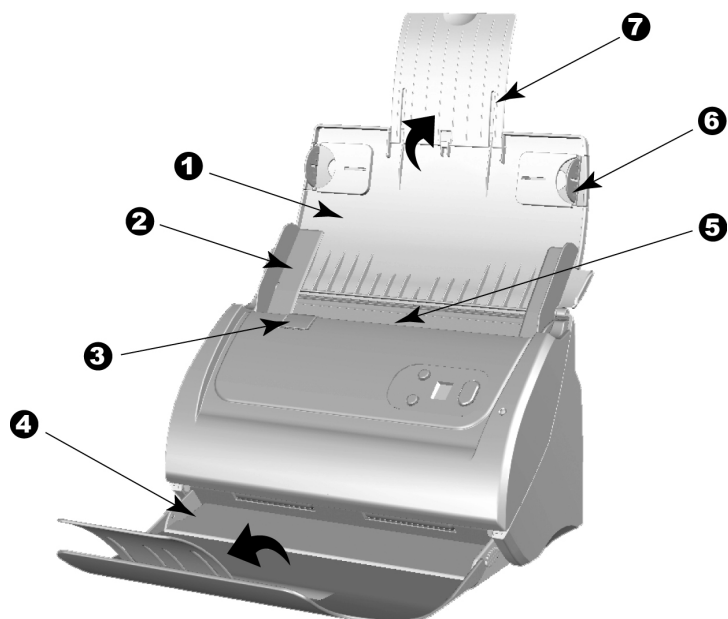
1. スキャナ
2. USB ケーブル
3. AC 電源アダプタ
4. スタッカー
5. クイックガイド
6. Mac セットアップ/アプリケーション CD-ROM
7. キャリブレーションシート
8. 拡張幅ペーパースライダー, 2 個
9. 保護シート³
10. 保護パッド付きキャリーバッグ⁴
11. クレンジングクロス
12. パッドモジュール

² スキャナを輸送する時のために梱包箱は保管しておいてください。

³ 保護シートが付属していないモデルもあります。

⁴ 保護パッド付きキャリーバッグが付属していないモデルもあります。

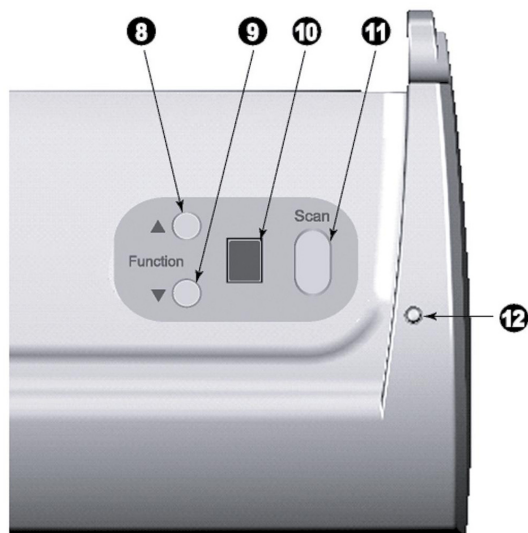
スキャナの概要



1. 後トレイ:紙をスムーズにスキャンのため、使います、スキャナーを使用の際は、開けて下さい。
2. 紙の幅に合わせるピック:スキャンしたい紙に合わせて手動で調整ができます。

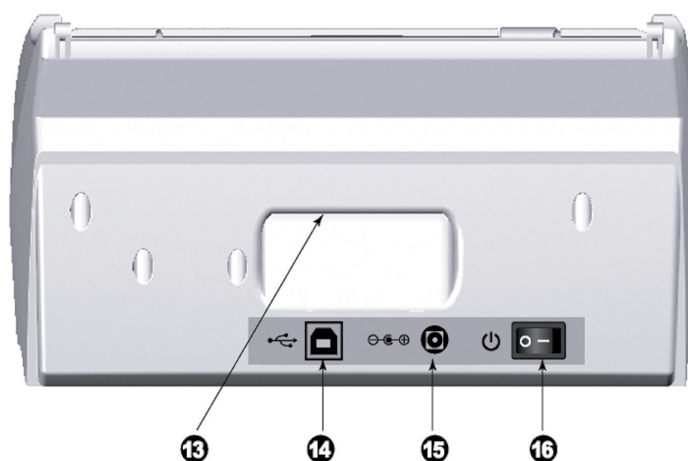


3. ふたのロック:ADF のふたを開ける。もしエラーや紙が詰まってる或いはスキャンモジュールを清潔したい際には開ける用です。
4. 紙の出口:スキャン終了の紙を載せます、長い紙にトレイを更に延長することも可能。
5. ADF(自動給紙トレイ):紙を自動的に挿入する。
6. 紙を導きトレイ:ADF でスキャンする紙を位置固定、手動で調整は可能。
7. 紙のサブトレイ:長さに合わせて調整は可能。



- 8. 上ボタン: 押しするとスキャン機能のナンバーが増えます。
- 9. 下ボタン: 押しするとスキャン機能のナンバーが減ります。
- 10. 機能ナンバーステータス: 只今機能の表示、上または下のボタンで選択は可能。
- 11. スキャンボタン: 押しするとスキャンは始まります。
- 12. パワー LED: スキャナーの状態を表示します。

ランプ	状態
緑色	スキャナーに電源が入っており、スキャンが可能な状態。
オレンジ色	スキャナはスタンバイモードに入っています。スキャナパネル上のいずれかのキーを押して、スキャナが正常な状態に戻ります。
オフ	電源が付いていないか AC アダプタが AC コンセントに適切に挿入されていません。スキャナがオフになりました。



- 13. 持ち設計: 人間工学のベースで設計された、もっと楽にスキャナーを持ちます。
- 14. USB ポート: PC とスキャナーを付属の USB ケーブルでここに接続します。
- 15. 電源コードレセプター(受け口): 付属の AC アダプタのコードをここに接続します。
- 16. 電源スイッチ: スキャナーの電源を ON/OFF します。

第 1 章 スキャナーの設置

スキャナーを設置する前に全ての構成部品が揃っているか梱包箱の内容物の項にあるリストに従って確認してください。

ソフトウェアをインストールするにあたっての要件

スキャナーには スキャナのドライバ及び MacAction が付属されています。これらのソフトウェアをインストールした後にハードディスクに約 800MB の空き領域が必要です。インストールのための十分なスペースとスキャン画像の保存のためには最低でも 1GB の空き領域がハードディスクにあることを推奨しています。



情報

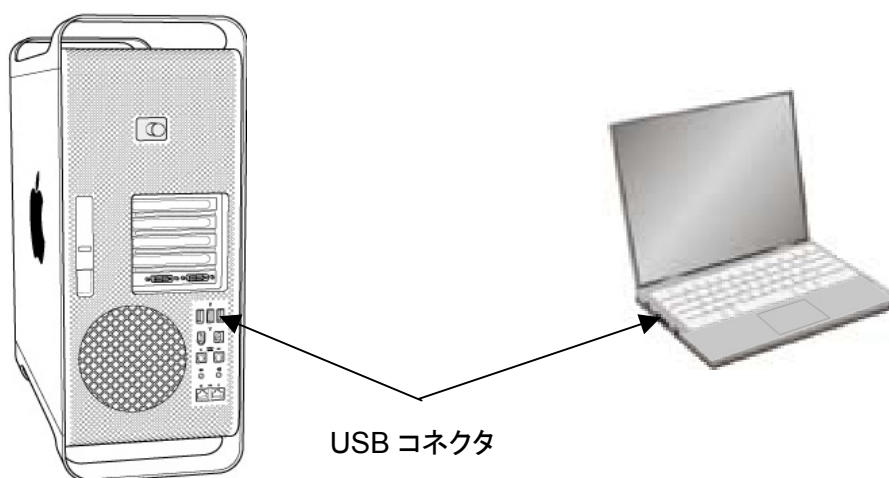
付属のアプリケーションプログラムが利用できるかどうかは、お買い上げのスキャナのモデルに依存します

USB スキャナーは Apple Mac OS X 10.12 / 10.13 / 10.14 / 10.15 のオペレーティングシステム上でのみ動作します。

ハードウェアの要件

このスキャナーは、ホットプラグ&プレイ機能をサポートする USB を通じてコンピュータに接続します。ご使用のコンピュータが USB に対応しているかどうかを確認するには、コンピュータの裏側をチェックして以下の図のような USB ジャックがあるかどうか調べてください。コンピュータによっては、裏側にある USB がすでに使用済みで、モニタまたはキーボード上に追加ポートが装備されている場合もあります。コンピュータ上で USB ポートを見つけられない場合は、コンピュータに同梱されていたハードウェアのマニュアルを参照してください。

通常は、確認してみると以下に表示されているように 1 つまたは 2 つの長方形の形状をした USB ポートが見つかるはずです。



コンピュータにそのような USB ポートがない場合は、動作可能な USB インターフェイスカードを購入し、コンピュータに USB 機能を追加しなくてはなりません。

スキャナーの設置と設定

スキャナーを設置するにあたっては以下の手順に従ってください。

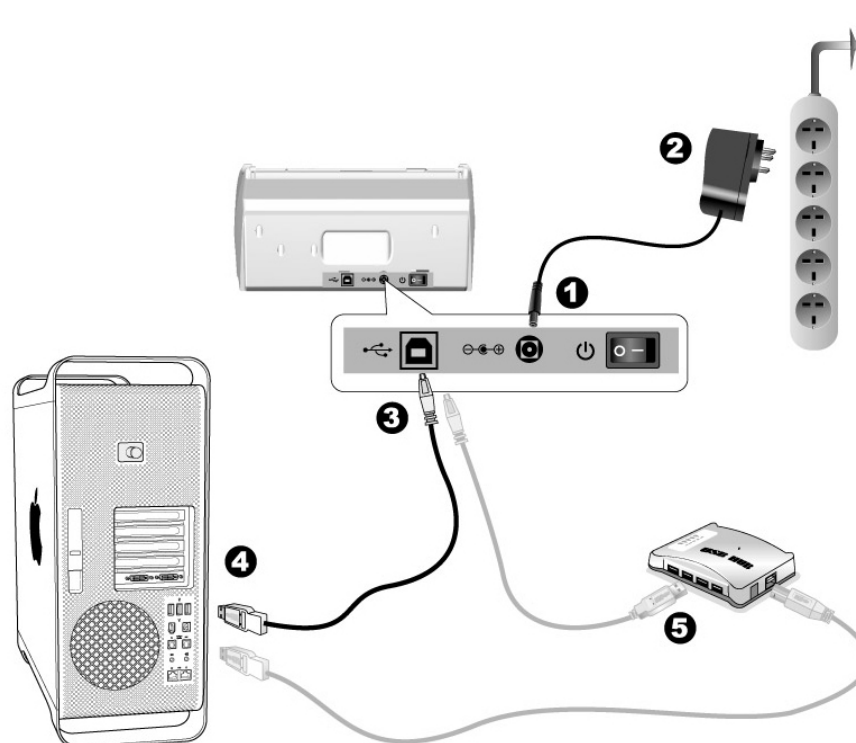


注意

まず適切な設置場所を選んでください!

- スキャナーのセットアップやスキャン作業を行う前に、スキャナーを水平で滑らかなしっかりした面に置いてください。
- 傾斜や凹凸のある面では、給紙エラー、スキャナーの故障、ケガの原因となります。
- スキャナーをほこりの多い環境で使用しないでください。ホコリやその他物体が本体に損傷を与える恐れがあります。

ステップ 1. スキャナーのコンピュータに接続します




注意

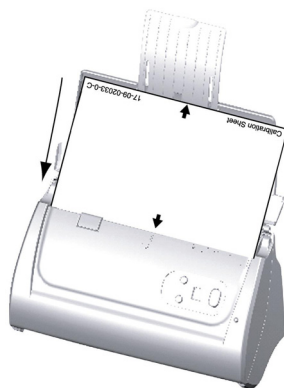
電源の入り切りの前には必ず、スキャナーのパワースイッチ OFF にしてください。

1. AC 電源アダプタをスキャナの電源取り込み口に挿し込みます。
2. AC 電源アダプタのコンセントプラグを家庭用 100V コンセントに挿し込みます。
3. USB ケーブルの正方形側をスキャナ後部 USB ポートに挿し込みます。
4. USB ケーブルの長方形側をコンピュータの USB ポートに挿し込みます。コンピュータの USB ポートは利用可能な状態であることが必要です。
5. スキャナーをUSB⁵ハブに接続する場合には必ずUSBハブとコンピュータを接続してからスキャナーをUSBハブに接続してください。

⁵ USB ハブはスキャナーには付属していません。

ステップ 2. ソフトウェアのインストール

1. スキャナの背面からスキャナーの電源を入れてください。
2. スキャナに付属の Mac セットアップ/アプリケーション CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると、[Plustek Scanner] CD アイコン  がご使用の Mac OS のデスクトップに表示されます。
3. CD アイコンをダブルクリックすると、ウインドウはファイルフォルダを示すウインドウが表示されます。
4. セットアップ・ファイル [Setup] をダブルクリックすると、スキャナのインストーラがインストール手順を案内し始めます。インストーラー・ウインドウに表示される画面上の手順に従って操作します。
5. ここで Mac 管理者パスワードの入力が促されます。パスワードを入力してインストールを続行します。注: インストールを行うことができるのは、Mac 管理者のみです。管理者として Mac OS にログインされていることを確認してください。
6. インストール完了後、[閉じる] をクリックするとインストーラーが終了します。
7. ソフトウェアのインストール後、スキャナーのキャリブレーションを実行してください。クリック Finder > アプリケーション > Plustek > スキャナモデル名 > Calibration_Wizard.
8. スキャナのボタンに向かって矢印に従って特別なキャリブレーションシートを ADF スキャナーに挿入して下さい。



9. 画面に表示される指示に従ってスキャナのキャリブレーションを行います。キャリブレーションが完了したら、[OK]。

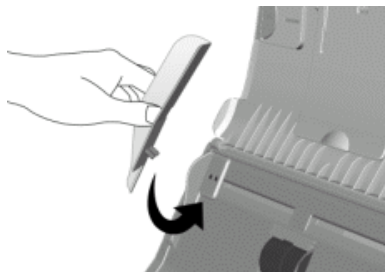


注意

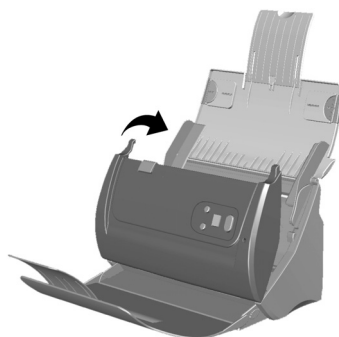
- 将来ドライバおよびソフトウェアの再インストールが必要になった時に備えて、セットアップ/アプリケーション CD-ROM は正しく保管してください。
- 将来スキャナのキャリブレーションが必要になった時に備えて、キャリブレーション用紙は正しく保管してください。

ステップ 3. 拡張幅ペーパーサイダーの設置

1. ADF カバーを引っ張って開けます。左右の拡張幅ペーパーサイダーを準備します。
2. 左側の拡張幅ペーパーサイダーをペーパーサイダーの左側に取り付けます。右側の拡張幅ペーパーサイダーをペーパーサイダーの右側に取り付けます。



3. ADF カバーをきちんと元の場所にかちとはまるまで閉めます。



ステップ 4. スタッカのインストール

スタッカのタブをスキャナのスロットに装着します。



情報

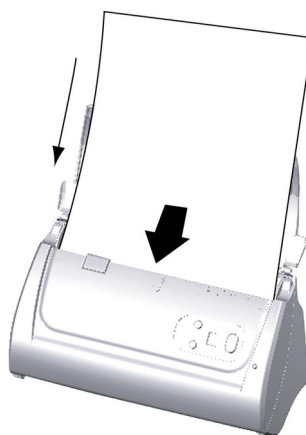
デスクトップが限られたスペースであれば、スタッカの装着はオプション装備です。





ステップ 5. スキャナのテスト

以下の手順に従ってスキャナーが正しく機能するかチェックしてください。テスト前にテスト接続を再度確認してください。

1. ドキュメントは、上端を下向きに裏返して ADF 用紙シュートの中央に入れ、ADF 内に底に着くまで入れます。



2. Dock のアイコン  をクリックしてください。
3. ボタン環境設定画面では、アイコンをクリックして操作番号を選びます。希望する機能を ボタンテンプレートのプルダウンリストから選んでボタン設定を調節します。[ADF (表面)]をスキャンタイプとして選びます。「OK」ボタンをクリックするとボタン環境設定ウィンドウを閉じます。
4. Windows のタスクレーに表示されている  アイコンを右クリックしてください。そしてポップアップメニューから[選択したプログラムの実行]を選択して開いてください。ポップアップメニューからお望みのボタン機能をクリックします。
5. この時、給紙トレイはドキュメントを自動的に転送及びスキャンする。スキャナは直ちに起動してボタンの環境設定により設定された処理を実行します。

第 2 章 スキャン操作

スキャナーを動作させるにはソフトウェアプログラムが必要です。テキスト、写真にかかわらずスキャナーが取り込んだ全てのドキュメントやイメージはコンピュータによりイメージとして取り扱われます。通常はスキャンした画像を閲覧、編集、保存、出力する画像処理のソフトウェアが使われます。

スキャンしたテキストのドキュメントをワードプロセッサに取り込むためには、OCR(Optical Character Recognition)のソフトウェアを使用します。

MacAction プログラムは、お持ちのスキャナーをコンピュータやその他周辺装置と連携させてスムーズに操作できるようにし、種々のスキャン機能が素早く簡単に利用可能になります。MacAction では、スキャンの度に設定することは不要です。スキャナーのフロントパネルのボタンのどれかを押すか、画面上の MacAction のスキャンメニュー項目のいずれかをクリックするだけです。スキャナーは紙文書をスキャンし、指定した場所に保存します。指定先はプリンタ、ご使用の e メールプログラム、ディスクドライブ上のファイル、画像編集プログラムなどが可能です。

各プログラムをご使用の際にはオンラインヘルプをご参照ください。

本章ではスキャナー操作の重要な 3 ステップが説明されています。これをよくお読みになり、正しい使用と最適なスキャナー性能が得られるよう指示に従ってください。

ステップ 1. ドキュメントの準備

ステップ 2. 原稿の置き方、名刺の置き方、プラスチックカードの置き方、保護シートを使ったドキュメントの置き方⁶

ステップ 3. イメージのスキャン

ドキュメントの準備

- 文書の状態の確認
- 書類のホチキスを外すこと

文書の状態の確認

文書がスキャナーに受け入れられる範囲か確認してください。詳細は当ガイドの別表「A: 製品仕様」をご参照ください。

ADF でたまる書類をスキャンは可能、仕事効率化の助力になる。ADF スキャナーはさまざまな紙を挿入が実現出来ます、普段事務所または生活によく便利に使えます。例えば:

- 本マニュアル準則別表 A: 製品仕様より述べた寸法と紙の重さ。
- 原稿用紙
- 印刷用紙

⁶ 保護シートが付属していないモデルもあります。



ADF 給紙装置のトラブルや故障の原因となるつぎのようなことにご注意ください:

- ADF に用紙をセットする前に、用紙に付いているゼムクリップ、ピン、ホチキスの針を必ず取り除いてください。
- 用紙にシワやカールがある時は、修正してからセットしてください。
- シャペンや鉛筆及び新聞をスキャンの際には、できればお控え下さい、内部のガラスに汚れやすい恐れがあります、なお、もし汚くなら、清潔することも可能です。別途ご参照ください。(第 3 章 お手入れとメンテナンス)。
- ADF にセットする用紙の重さは 1 枚ごとに違っていても構いませんが、用紙の長さは全て同じ長さに統一する必要があります。

文書は次のような現象に従うことを条件として、ADF を使用しないでください。

- 紙坪量 50 g/m² 未満につき(14 ポンド)または 120 g/m² の(32 ポンド)を超える。
- ホチキス留めホチキスやクリップファイル。
- 様々な厚さ、封筒などの紙。
- 折り畳ま、カールされた、オーバーラップ、破れた紙
- 紙の不規則な角を持つ
- 静電気が付いた紙
- トレーシングペーパー
- カーボン紙、重力感知紙、NCR
- 他のペーパーアイテム、そのような布のよう、金属箔。

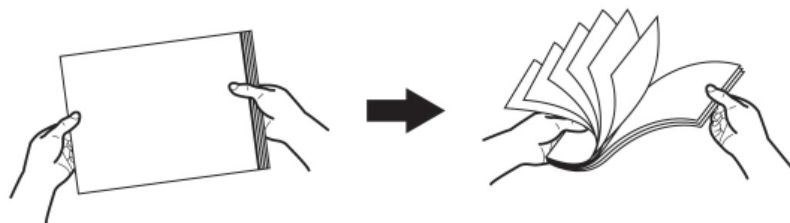


- ADF スキャン写真や、元のファイルの有価証券などを使用しないでください。ファイルのひだや故障の原因となる障害をフィードすることがあります。
- ADF にぬれたインクや修正液の負荷紙を乾燥の前スキャンは禁止。乾燥してから、インクや修正液であることが、ADF に配置されるまで数分お待ちください。

スプレッドファイル

ADFに原稿の束は、処理するために、次のメソッドは、ドキュメントをスワイプしたい:

1. 用紙が別々に一つずつ、そして癒着を持つことができないので、ファイルのスタックを失う。紙から静電気が除去されたことを確認してください。



2. すべてのファイルをと、両側に光の揺れで平面上に存在するファイルの上部と下部を両手を提出。



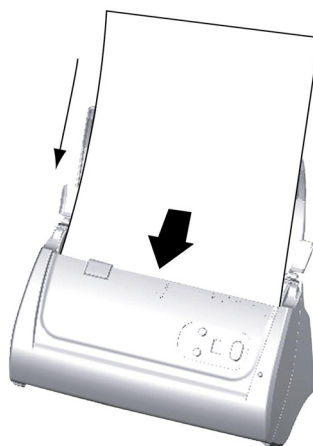
このメソッドは、フィード障害が発生防ぐ ADF で、通常は各ファイルが有効になります。

ドキュメントの置き方

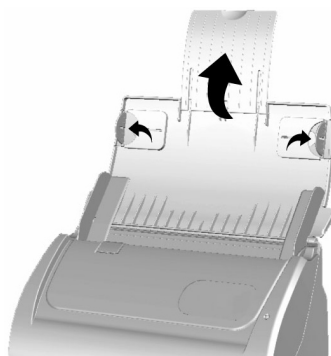
1. ドキュメントは、上端を下向きに裏返して ADF 用紙シュートの中央に入れ、ADF 内に底に着くまで入れます。

片面スキャンの場合、ドキュメントは裏返しに入れて、スキャンされる面が用紙シュートに向かうようにします。

両面スキャンの場合、希望するページを下にして、スキャンされる面が用紙シュートに向かうようにします。



2. 長いドキュメントをスキャンする場合は、ペーパーシート延長部と側面ガイドを延ばして、ドキュメントを支えるようにします。



3. 使用する用紙サイズに合わせてペーパー用紙幅スライダーを調節します。用紙幅スライダーはドキュメントの両側に軽く当たるようにします。

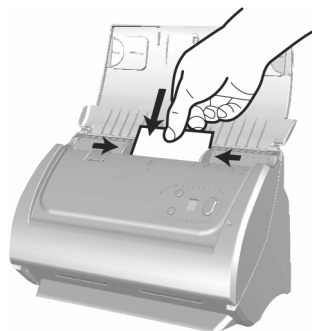


注意

- ADF の最大用紙積載量は 50 枚です。(70 g/m², 18 lb. の用紙の場合)
- ADF を利用できる最小用紙サイズは 5.08 x 5.08 cm (2" x 2", W x L) です。
- フォルダとエッジの間に隙間のないことを確認、それ以外のファイルは、スキュースキャン処理中に発生する可能性があります。
- 紙ジャム等適切に最良のスキャン結果を達成するためではなく、ファイルのカードをきつくし、フィードがブロックさせるために ADF に原稿を配置する故障、紙限りません。
- ADF の給紙トレイフィードとスキャンは、任意のファイルを置かないでください。

名刺の置き方

1. 名刺を置くには、上端を下に裏返して、ADF の中央に ADF の底に着くよう置きます。
片面スキャンの場合、名刺は裏返しにします。
両面スキャンの場合、名刺は望む方向に設置します。



2. 用紙幅スライダーを名刺の幅に合わせます。用紙幅スライダーは名刺の両側に軽く当たるようにします。

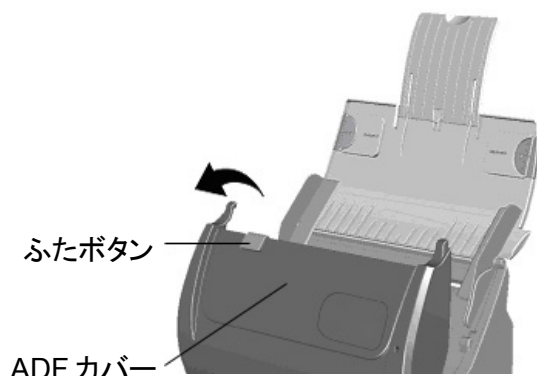


一度の処理で 20 枚を超える名刺を入れしないでください。

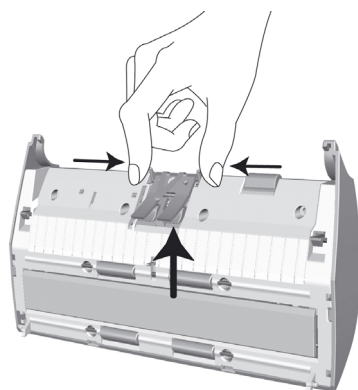
プラスチックカードの置き方

プラスチックカードには、エンボス加工のクレジットカード、運転免許証、ID カード、保険証、医療処置カードまたは任意の会員証が含まれます。エンボス加工のカードは必ず上端を上スキャナに入れてください。スキャン画像が十分に鮮明でない場合、プラスチックカードを装着する前にパッドモジュールを取り外してください。

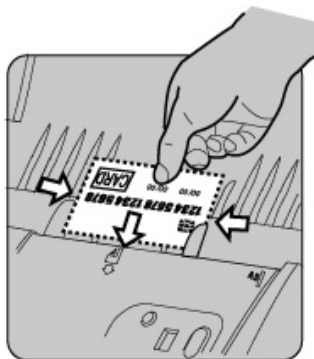
1. ADF カバーを引っ張って開けます。



2. パッドモジュールの両側を挟みながら取り外します。



3. ADF カバーをきちんと元の場所にカチッとハマるまで閉めます。
4. プラスチックカードを水平にし、上端を上にして裏返して ADF の中央に置きます。
片面スキャンの場合、カードの表を上に向けます。
両面スキャンの場合、カードは望む方向に設置します。



5. 用紙幅スライダーをカードの幅に合わせます。用紙幅スライダーはカードの両側に軽く当たるようにします。



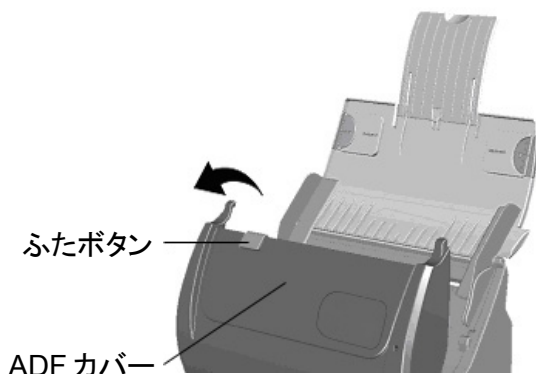
注意

- スキャンするプラスチックカードは必ず水平に ADF に装着してください。
- 使用可能なプラスチックカードの最大厚は 1.2 mm です。

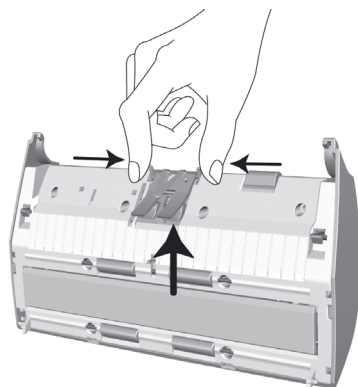
保護シートを使ったドキュメントの置き方⁷

紙詰まりやドキュメントのキズを防ぐため、特別なドキュメントを保護しつつ読み込む目的で保護シートが用意されています。これでスキャナに装着しにくいドキュメントの読み込みが可能になります。例えば、特殊な(長方形ではない)形状、しわ、曲がり、折り跡のあるものや切手、雑誌、新聞の切り抜きなどが読み込めます。また、写真や大事なドキュメントなどキズを付けたくない対象にも保護シートが使用できます。スキャン画像が十分に鮮明でない場合、保護シートを装着する前にパッドモジュールを取り外してください。

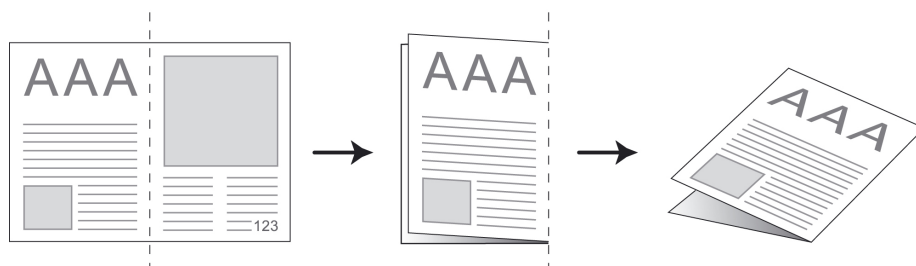
1. ADFカバーを引っ張って開けます。



2. パッドモジュールの両側を挟みながら取り外します。

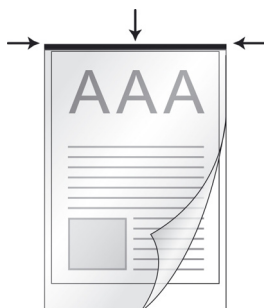


3. ADFカバーをきちんと元の場所にかちとはまるまで閉めます。
4. 大型サイズのドキュメントは、スキャンする側を表向きに、中央できちんと半分に折ります。



⁷ 保護シートが付属していないモデルもあります。

5. 保護シートを開き、シート中央にドキュメントの上端を上、表を下にして端がきちんと当たるよう中に置きます。ドキュメント上部を保護シートの黒い線に合わせ、折り曲げた部分をシートの右側にします。



6. 保護シートをスキャナに置きますが、ADF の中央に保護シートの黒い線を合わせるようにします。



7. 片面スキャンの場合、保護シートの表を下に向けます。
両面スキャンの場合、保護シートは望む方向に設置します。
8. 用紙幅スライダーを保護シートの幅に合わせます。用紙幅スライダーは保護シートの両側に軽く当たるようにします。



注意

保護シートを使ってスキャンする場合、シートは 1 枚ずつ入れてください。

ドキュメントのスキニング

つぎの 3 つの方法でスキナーを操作できます:

1. スキナーのスキナーボタン。
2. ドックアクションズエグゼキュート(MacAction's Execute)のメニューから操作する方法。
3. MacAction ウィンドウ左側のアイコンからスキナーして。

び MacAction はドライバーをインストールする際に自動的にインストールされます。



注意

スキナーを開始する前に以下をチェックしてください:

- お使いのコンピュータとスキナーの電源がオンになっている。
- ADF ファイルは正しく配置。

スキナーのボタンからのスキニング

スキナー操作をスキナーのボタンで操作するのが簡単で便利です。スキナーのフロントパネルに表示される種々のスキナー操作は、MacAction を通して設定できます。MacAction は頻繁に使用するスキナー操作を素早く行うことができる機能です。同じ設定で繰り返しスキナーする際に大変役立ちます。最初にスキナーのボタンを使ってスキナーする前にボタンの設定をすることを推奨しています。

スキナーボタンからのスキナー

1. スキナーにドキュメントや画像をセットしてください。(用紙を ADF に正しくセットする方法の詳細は、スキナーユーザーガイドの“第 2 章 スキナー操作”をご参照ください。)
2. 現在のボタン設定は、ボタン設定ウィンドウから確認できます。必要があれば、現在の必要に合わせて設定を変更することも可能です。(詳細は下記の“ボタンの設定の表示”および“ボタンの環境設定”をご参照ください。)
3. 上または下ボタンを押して必要な操作を選択します。
4. [スキナー]ボタンをクリックします。

スキナーは直ちに起動してボタンの環境設定により設定された処理を実行します。






注意

OCR 処理ボタンはドキュメントを OCR 解析後テキスト変換するための専用ボタンです。画像のスキナーには使用できません。

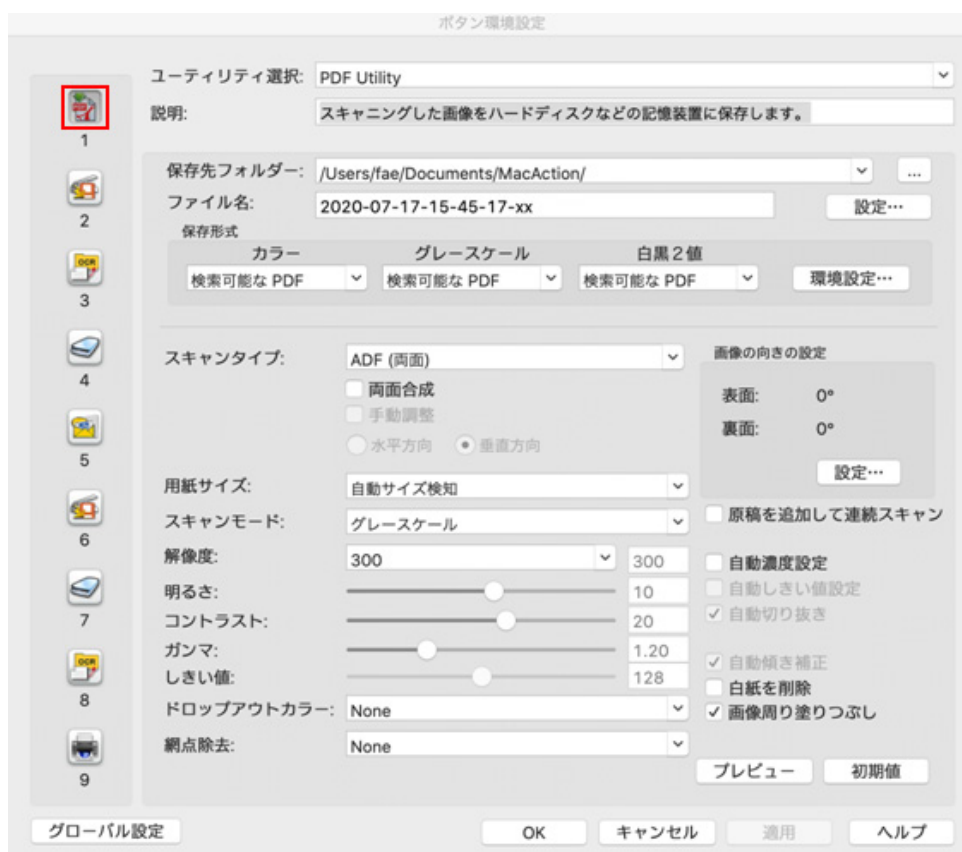
ボタンの環境設定

ボタン環境設定画面では、画面の左側に横一列に並んだアイコンが表示されます。各アイコンはスキナー操作を表し、その下の数字はスキナーのフロントパネルに表示される機能番号を表します。9 つの頻繁に使用されるスキナー機能が予め設定されており、スキナーをすぐ始められるようになっています。それでもユーザー皆様は、個々のニーズとお好みに合わせて 9 つの機能設定をカスタマイズできます。下記の手順で行います:

1. ホット設定ウィンドーを開くには、下記の操作の内の一つを行います:

- Finder > アプリケーション > Plustek > スキャナモデル名のアイコン  をダブルクリックしてください。
- Dock のアイコン  をクリックしてください。
- Dock のアイコン  を右クリックしてください。そしてポップアップメニューから[ホット環境設定]を選択して開いてください。



2. アイコンをクリックして操作番号を選びます。



3. 希望する機能をホットテンプレートのプルダウンリストから選んでホット設定を調節します。
設定の詳細は、[ホット設定]ウィンドーの[ヘルプ]ボタンをクリックしてください。

ホット設定の表示

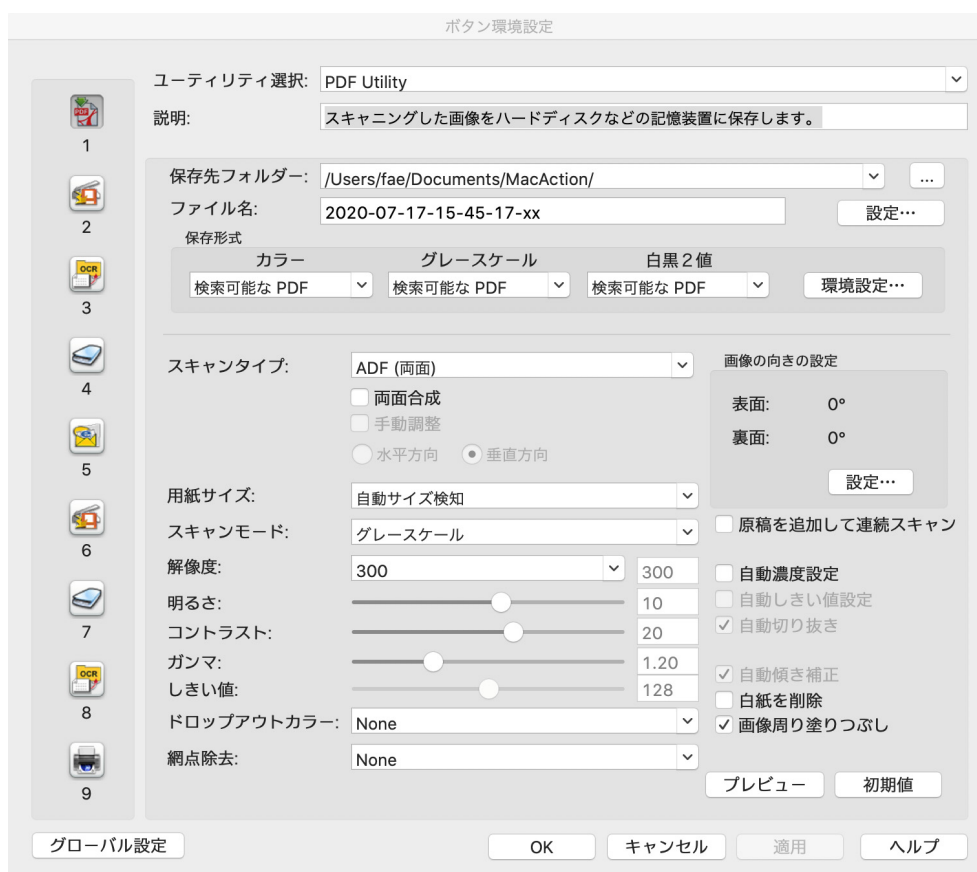
ホット設定を表示するには以下の2つの方法があります:


- Dock のアイコン  をダブルクリックしてください。
- Dock のアイコン  を右クリックしてください。そしてポップアップメニューから[ホット環境設定]を選択して開いてください。

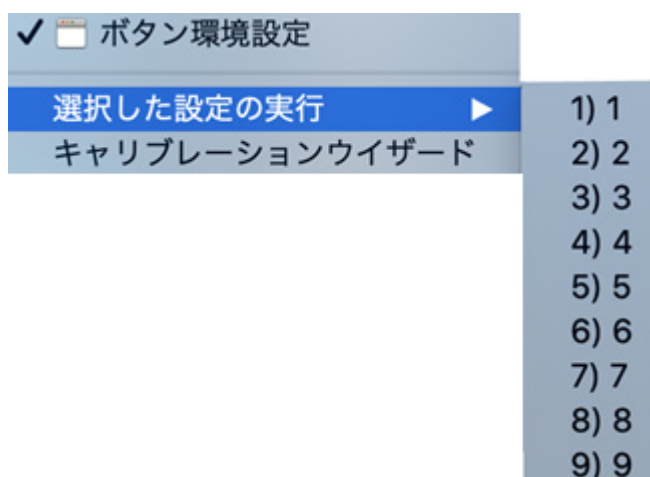
MacAction のExecuteメニューからのスキャン

MacAction のオンスクリーンで選択したプログラムの実行メニューを使っても、スキャン操作を同様にできます。MacAction プログラムは種々のスキャン機能を実行する素早く簡単な方法を提供します。下記の手順で行います:

1. スキャナにドキュメントや画像をセットしてください。
2. 現在のボタン設定の確認には、ボタン設定ウィンドウを参照します。必要があれば、現在の必要に合わせて設定を変更することも可能です。



3. Dock のアイコン  を右クリックしてください。そしてポップアップメニューから[選択したプログラムの実行]を選択して開いてください。



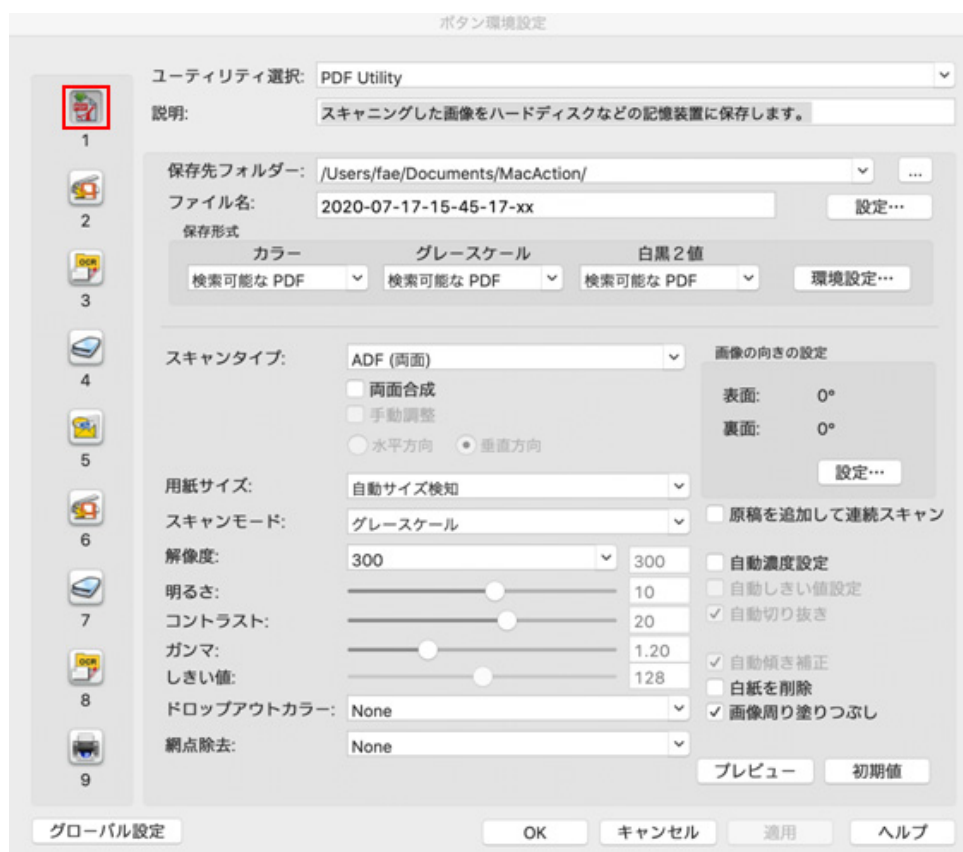
4. ポップアップメニューからお望みのボタン機能をクリックします。

スキャナは直ちに起動してボタンの環境設定により設定された処理を実行します。

MacAction ウィンドウ左側のアイコンからスキャンします

MacAction ウィンドウ左側のアイコンをダブルクリックしてスキャンを実行できます。下記の手順で行います。

1. スキャナにドキュメントや画像をセットしてください。
2. 現在のボタン設定は、メモステッカーの表示またはボタン設定ウィンドーから確認できます。必要があれば、現在の必要に合わせて設定を変更することも可能です。
3. MacAction ウィンドウ左側の目的のアイコンをダブルクリックします。



スキャナはすぐスキャンを開始し、ボタン設定ウィンドウで設定した処理を実行します。

第3章 お手入れとメンテナンス

お買い上げのスキャナーはメンテナンス不要となっておりますが、定期的なお手入れで、スキャナーを快適にご使用いただけます。

スキャナーのクリーニング

スキャンする紙からの粉、ホコリ、インクやトナーがスキャナーガラスを汚して、画質低下や給紙エラーの原因となる場合があります。スキャナーの清掃頻度は、紙の種類やスキャンするページ数に依存します。

以下の手順でスキャナー表面とスキャナーガラスを清掃してください。ここで記述される箇所を静かに拭き取ります。強くこすらないでください。



警告

- スキャナー清掃の前にスキャナーの電源をオフにし、電源ケーブルと USB ケーブルを抜いてから、ガラスが室温になるまで数分待ってください。
- スキャナー清掃後は手を石けんと水で洗ってください。

清掃用具

スキャナー清掃には以下の用品を準備します：

- 柔らかで乾いた、糸くずの出ない布(または木綿のウェス)
- 研磨剤無添加の洗剤—イソプロピルアルコール(95%)。水は使わないこと。

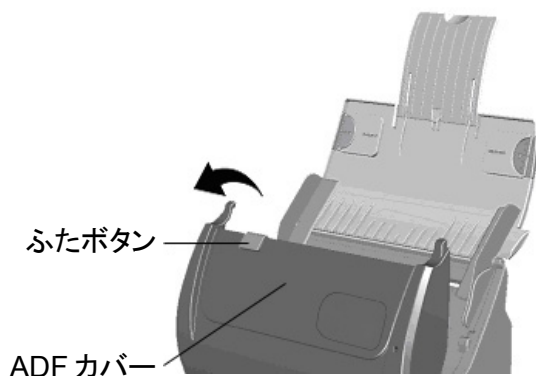


注意

- スキャナーガラスの清掃にはガラスクリーナーや中性洗剤も代用できます。
- 但し、ADF 給紙ローラやクッションモジュールをきれいにする洗剤のこのタイプを使用しないでください!
- 他の用具を使用するとスキャナーを傷つける可能性があります。

ADF の清掃

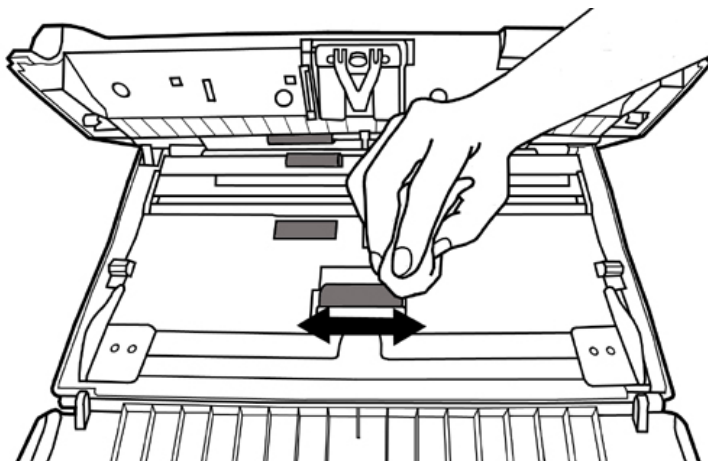
1. ADF カバーを引っ張って開けます。



2. クリーナーで湿らせた布を使って下記の部分を静かに拭きます。表面に傷を付けないよう注意してください。

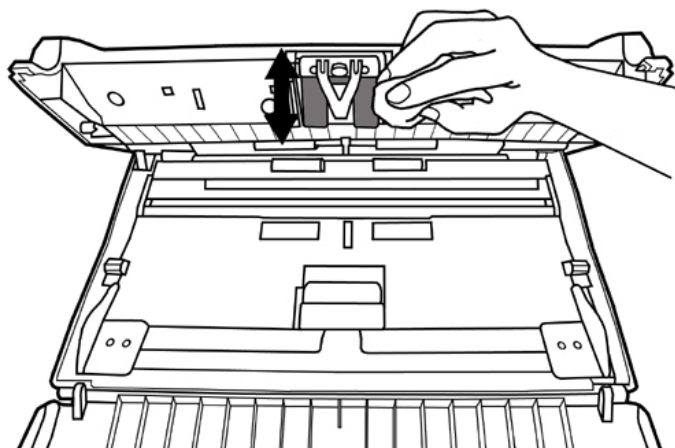
紙送りローラーのクリーニング:

紙送りローラーの端から端まで拭いてから回転させます。表面全体がきれいになるまで続けます。

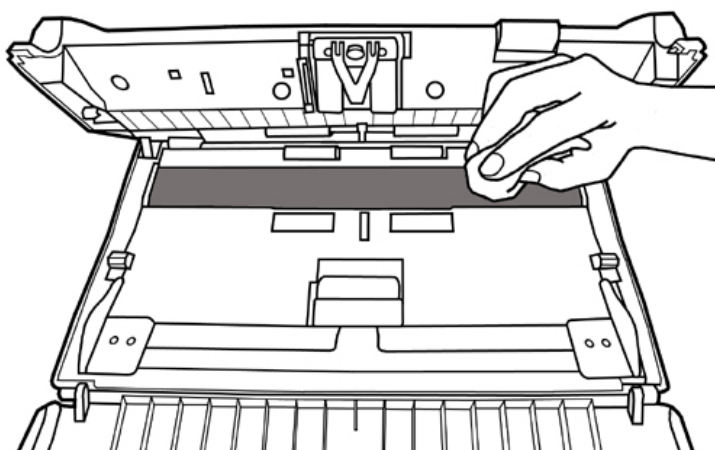


パッドモジュールのクリーニング:

パッドモジュールを上下(下図の矢印方向)に拭きます。パッド上のピックスプリングを傷めないように注意してください。



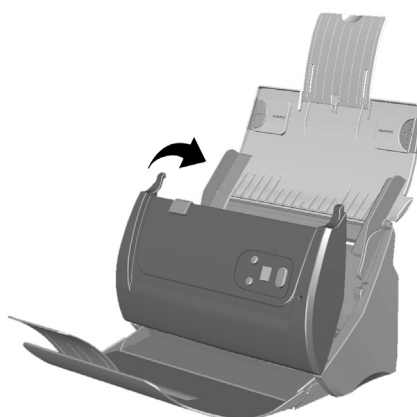
ADF のガラスをきれいにする:



注意

直接スキャナーのガラス面にクリーナーをスプレーやめてください、残留洗剤を霧状にして、スキャナを損傷することが恐れ有ります。

3. クリーニングした部分が完全に乾くまで待ちます。
4. ADF カバーをきちんと元の場所にかっとはまるまで閉めます。

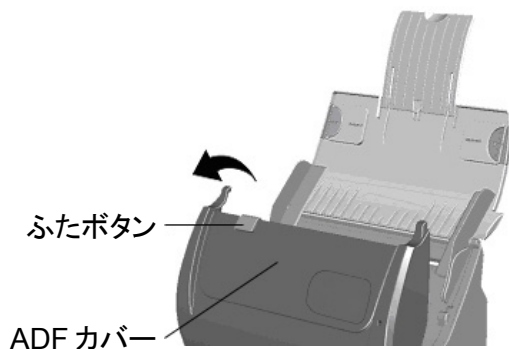


消耗品の交換

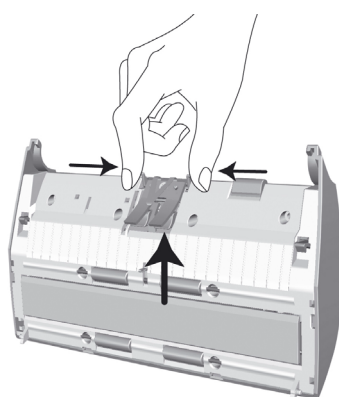
基本的に、弊社はあなたが紙の 20,000 枚をスキャンすることをお勧めします一度張りモジュールを取り替えた。あなたのファイル保護スリーブ深刻な被害をスキャンできない場合は、新しいファイルの保護スリーブを購入してください。

パッドモジュールの交換

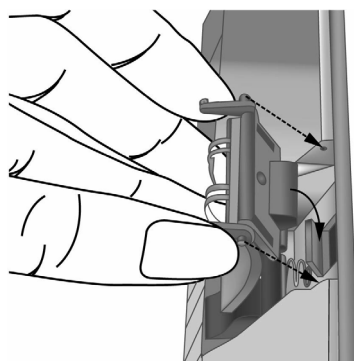
1. ADFカバーを引っ張って開けます。



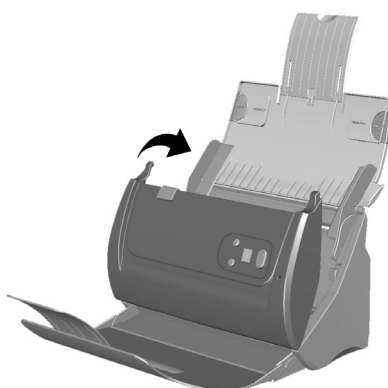
2. パッドモジュールの両側を挟みながら取り外します。



3. モジュール上のタブをスキャナ上のスロットに挿入し、新しいパッドモジュールを取り付けます。



4. ADFカバーをきちんと元の場所にカチッとハマるまで閉めます。



スキャナのキャリブレーションを行う

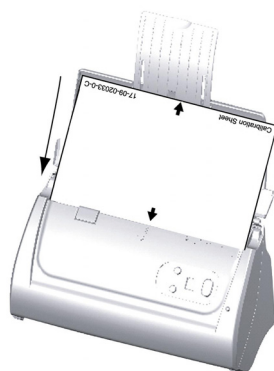


矯正を開始する前に、ガイドトレイを取り外し


白であるべき部分に色が付いていたり、スキャンされた色が違いすぎたりする場合、スキャナのキャリブレーションを行ってください。これにより時間経過によって自然に生じる光学コンポーネントでの変化に対する調節や補償が可能です。

以下ではスキャナのキャリブレーション方法を説明します。

1. このキャリブレーションシート、矢印の各側に1つの側面は、[ADF スキャン]キャリブレーションに専用です。
2. スキャナの ADF に専用キャリブレーションシートを入れます、そのなかの一つ矢印はスキャナのボタン。



スキャナに同梱されている特殊キャリブレーションシートを挿入してください。または、無地のUSレターサイズ/A4 サイズの用紙を使用することもできます。ただし、キャリブレーションシートを使用したときよりもキャリブレーション効果は劣ります。


3. Dock のアイコン  を右クリックしてください。そしてポップアップメニューから [Calibration_Wizard] を選択して開いてください。
4. [開始] ボタンをクリックすると、キャリブレーション処理が始まります。
5. スキャナはキャリブレーション用紙をスキャナから引っ張り、このスキャナのキャリブレーションが完了します。キャリブレーションが完了したら、[OK] をクリックします。

省電力

電力消費を削減するため、スキャンプロセスの完了後、スキャナ光源自動的にオフになります。



情報

- スタンバイモードを無効にするか、それとも、スキャナが自動的にスタンバイモードに入るの時間を設定することができます。任意のスキャナボタンを押して、スキャナをスタンバイモードから復帰させることができます。
- Dock のアイコン  を右クリックしてください。そしてポップアップメニューから[スキャナユーティリティ]を選択して開いてください。スタンバイモード命令のさらなる使用を参照してください「MacAction」オンラインマニュアル。

第4章 トラブルシューティング

スキャナーに関する問題が生じた場合は、当ガイドの設置およびスキャン操作の指示を確認してください。

スキャナーの接続

スキャナーに問題があった場合、最初のトラブルシューティングはスキャナーの物理的な接続をチェックすることです。スキャナーとコンピュータが正しく接続されソフトウェアが正常に起動すると Dock にアイコン



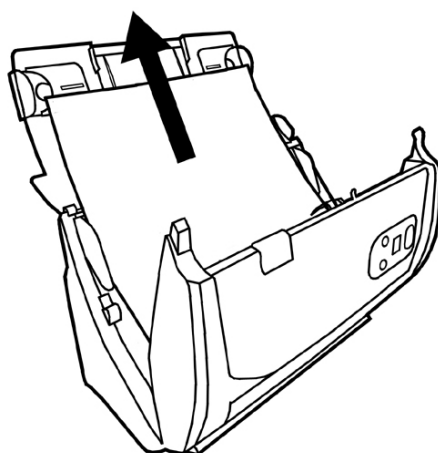
が表示されます。

表示	状態
	スキャナーとコンピュータが正しく接続されソフトウェアが正常に起動しています。読取準備完了です。
表示なし	スキャナーが接続されている、されていないにかかわらずソフトウェアが起動していません。(ソフトウェアが終了しています。)

紙詰まりの除去

ADF 内で紙詰まりが起こった場合は、以下の手順を行ってください：

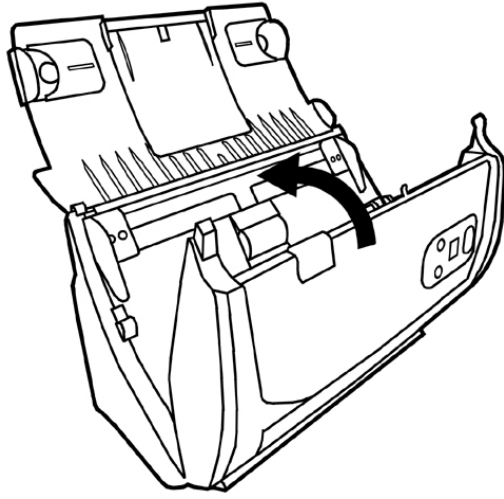
1. ADF に置かれている、詰まっていない文書があれば取り除きます。
2. ADF カバーを引っ張って開けます。
3. 静かに力を入れて詰まった文書を引っ張り、ADF から取り出します。この際、用紙を折ったりしわくちゃにしたりしないよう気をつけます。



注意

ADF カバーを開けてないままで詰まった用紙を引っ張ることやめてください。ADF に永久的な損傷を引き起こす可能性があります。

4. ADF カバーをきちんと元の場所にカチッとハマるまで閉めます。



別表A: 製品仕様⁸

Plustek PS286 Plus, Plustek PS288/286	
イメージセンサ	CIS x 2
光源	LED
解像度 (オプティカル)	600 dpi
ハードウェア解像度	600 x 600 dpi
スキャンモード	カラー: 入力 48 ビット、出力 24 ビット グレースケール: 入力 16 ビット、出力 8 ビット モノクロ: 1 ビット
最大原稿搭載枚数 (ADF)	1. 50 枚 (A4 / US レターサイズ, 70g/ m ²), 最大約 5 mm 2. 20 枚 (名刺) 3. プラスチックカード厚さ, 最大約 1.2 mm 参考: ADF にセット可能な最大枚数は紙の重量によって異なります。
スキャン速度 (ADF)	25 ppm/ 50 ipm (グレースケール, 200 dpi, A4) 25 ppm/ 50 ipm (モノクロ, 200 dpi, A4) 8 ppm/ 8 ipm (カラー, 200 dpi, A4) 6 ppm/ 6 ipm (カラー, 300 dpi, A4) 参考: 結果は、スキャンアプリケーション、コンピュータのプロセッサおよびシステムメモリによって異なる場合があります。
スキャン領域	最高: 216 x 2500 mm (8.5" x 98.42") 最低: 13.2 x 13.2 mm (0.52" x 0.52")
スキャン領域	最高: 220 x 2500 mm (8.66" x 98.42") 最低: 50.8 x 50.8 mm (2" x 2")
読み取り可能原稿厚さ	50 ~ 105 g/m ² (14 ~ 28 Lbs)
一日の推奨処理枚数	1,500
ローラー寿命(スキャン)	100,000
パッド寿命(スキャン)	20,000
ボタン始動スキャン	Scan, OCR, File, E-Mail, Copy. 全てカスタム化可能.
電源	24 Vdc/ 0.75 A
接続	USB 2.0
重量	1.66 Kgs (3.66 Lbs)
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	263 x 128 x 148 mm (10.36" x 5.02" x 5.83")

⁸ 仕様は予告なく変更されることがあります。

別表 B: カスタマーサービスと製品保証

当社ウェブサイト www.plustek.com より、カスタマーサービスの詳細情報が入手できます。更なる支援が必要な場合は、ウェブサイトに記載の当社カスタマーサポートの電話番号までお電話ください。

電話でお問い合わせになる場合には下記を事前に準備してください:

- スキャナーの名称及びモデル No.
- スキャナーのシリアル No.(スキャナーの底面に貼ってあります。)
- スキャナー CD バージョンおよびパーツ番号
- 障害内容
- ご使用のコンピュータのメーカー名、モデル名
- ご使用のコンピュータの CPU 速度
- オペレーティングシステム及び BIOS
- ソフトウェア名、バージョン No.、リリース No.、ソフトウェアメーカー名
- インストールされているその他の USB 機器

サービスおよびサポート情報

必要時には交換部品入手可能期間および製品アップグレード情報が提供されます。これら情報は地元の代理店や販売店にお尋ねください。

対応する施行制度によって要求された情報。地元の代理店や販売店に施行制度のテストレポート情報をお尋ねください。

製品の処分はまず地元の代理店や販売店に正しい廃棄方法を確認して行うことで、環境への影響を最小限にとどめることができます。

製品や付属品の廃棄を望む場合、最寄りの廃棄業者への連絡方法を地元の代理店または販売店にお尋ねください。

メンテナンスが必要な場合は、最寄りのメンテナンスセンターへの連絡方法を地元の代理店または販売店にお尋ねになり、製品使用可能期間を延ばすことができます。

製品のメンテナンスや撤去が必要であれば、地元の代理店または販売店に最寄りのお店の情報をお尋ねください。

製品保証

製品保証は正規代理店から転売目的でなく自らの使用目的のために購入された方のみ適用されます。

メーカーの保証は部品、修理費用を含みますが購入時の領収書がない場合には保証は適用されません。製品保証サービスを受けるには弊社正規代理店、販売店にご連絡いただくか弊社のホームページからサービス情報をチェックしてください。E-Mail でのお問い合わせも受け付けております。

製品を他のユーザーに譲渡した場合、譲渡されたユーザーは保証の残存期間サービスを受けることができます。譲渡する場合には領収書等の購入時証拠書類も渡してください。

弊社では書類に記載された通りに製品が動作することを保証いたします。購入時の証拠書類の提示により交換された部品の保障期間は製品の残存期間と同じとします。

保証サービスで製品を持ち込む際には全てのプログラム、データ、脱着可能なストレージメディアは外してください。ガイド、ソフトウェアなしで返却された製品は、修理後ガイド、ソフトウェアなしで返却されます。

事故、天災、破壊、誤使用、不正使用、不適切な環境での使用、プログラムの変更、他の機械、本機の改造に対して製品保証は適用されません。

本機が本来設計された目的の用途で使用された場合にのみ製品保証は適用されます。

製品保証についてのお問い合わせはお買い求めになった正規販売店またはメーカーのお願いいたします。

この製品保証は明示、黙示を限定せずある目的のための目的保証を含む他の全ての保証置き換わるものである。法律によっては黙示的保証の除外を許容しないことがあり、この場合全ての明示、黙示的保証は保障期間内にのみ限定される。この期間を過ぎた後はいかなる保証も適用されません。

黙示的な保証がどれだけ長く続くか制限を設けることを許容しない法律の場合には上記の制限は適用されません。

如何なる場合でも下記に対しては免責です。

第三者が貴社(貴殿)に対して行う損失、損害の請求

貴社(貴殿)の記録、データも喪失、損害

因果的な経済的損失(遺失利益、節約を含む)、付随的な損害

付随的、因果的な損害の制限を排除することを許容しない法律の場合には上記の制限はまたは除外は適用されません。

製品保証は法的権利を与えるものであって、法律によって他の権利をもつこともありえます。

FCC 規格

この機器はテストの結果、FCC Rules の Part 15 に規定されたクラス A デジタル機器の限界値に適合していることが確認されています。この限界値は、商用環境で機器を使用した場合に発生する有害な妨害に対して、適切に保護するためのものです。この機器は、無線周波数エネルギーを生成し使用し、また放射することがあります。説明書どおりに設置して使用しないと、無線通信に対して有害な妨害を及ぼすことがあります。この機器を住宅環境で使用すると、有害な妨害が発生する可能性があります。その場合、ユーザーは個人の負担でその妨害に対処しなければなりません。

受信アンテナの方向を変えるか位置を変える。

装置と受信機の距離を離す。

受信機に使用しているコンセントとは別のコンセントに装置を接続する。

装置に付属しているシールド付き内部接続ケーブルとシールド付き電源コードは、当装置が電磁波放出限界を超えないよう常に使用する。

状況が改善されない場合は、購入先またはラジオ・テレビに詳しい技術者に問い合わせる。

製造者が明確に認めていない変更や改変は、ユーザーの装置を操作する権利を無効にします。

この製品は、FCC Rules の Part 15 に適合しています。次の 2 つの条件に従って運用します。(1) 有害な妨害を発生させてはならない。(2) 意図しない動作を引き起こす可能性がある場合も含めて、すべての受信妨害を受け入れなければならない。